

人生ピンチヒッター友の会

ニュースレター 第2号 2017.12.1

ピンチヒッターから始まる 角田万木

(人生ピンチヒッター友の会メンバー)

最初は、帰宅中カフェでお願いしていたファシリテーターの方たちが来れなくなった時でした。その時は、別の方たちにお願ひして、事なきを得ましたが、その内の一人の方から「自分でやりなさい」と言われ、責任重大な役目にビクビクしながら始めました。失敗も多々あり、参加者の方たちに申し訳なく思いながらも、リピーターの方たちに助けていただきながら、頑張って小さなテーブルにできうる愛を込めています。

次は、『がん哲学外来で処方箋を カフェと出会った 24人』の出版記念会の時でした。先に話されたお二人が、会場から笑いを取っていたので、プレッシャーでしたが、ひょんなところで私の時にも笑い声が溢れ、ホッと肩の荷を下ろしました。今でも人見知りで、人前で話すのは苦手ですが、ピンチヒッターは一步ふみ出す勇氣となりました。病気になったからこそ出会い、助けられ、今も見守ってくれている方たちに感謝を込めて、嫌じゃなければ挑戦してみる、人から必要とされるために、日々の些細な出来事からも学びながらの自分磨きが大切と感じるこの頃です。



2017年

ビューティースマイルプロジェクト
ご主人とのツーショット



2003年発行 現存のみ

私のピンチヒッター体験 岩崎秀子 (人生ピンチヒッター友の会メンバー)

最近のピンチヒッター体験を二つ紹介したいと思います。

1つ目は、まさにこの『人生ピンチヒッター友の会』ニュースレターの編集長に任命されたことです。

初めて参加した東久留米での『武士道』、『代表的日本人』の読書会で、会の発足とニュースレター発行の話しが速効性と英断により決まり、パソコン素人の私が編集を担当することになりました。

2つ目は、樋野先生の原点とも言われている著書『われ21世紀の新渡戸とならん』の改訂版の発行に、携わることになったことです。出版社の方に、電話をかけるところから始まりました。

(有) イーグレイブ 代表取締役社長 穂森宏之様のご尽力により話は進み、来年2018年3月7日『樋野興夫先生生誕記念 in 万座』歴史的記念日に改訂版発行の運びとなりました。

編集担当・出版担当と人生初のことで大いに戸惑い驚きましたが、このピンチヒッター体験は、私にとって大きな大きな喜びです。

編集者：『人生ピンチヒッター友の会』岩崎秀子
一般社団法人がん哲学外来ホームページ

pchan3954@bf7.so-net.ne.jp
<http://www.gantetsugaku.org>